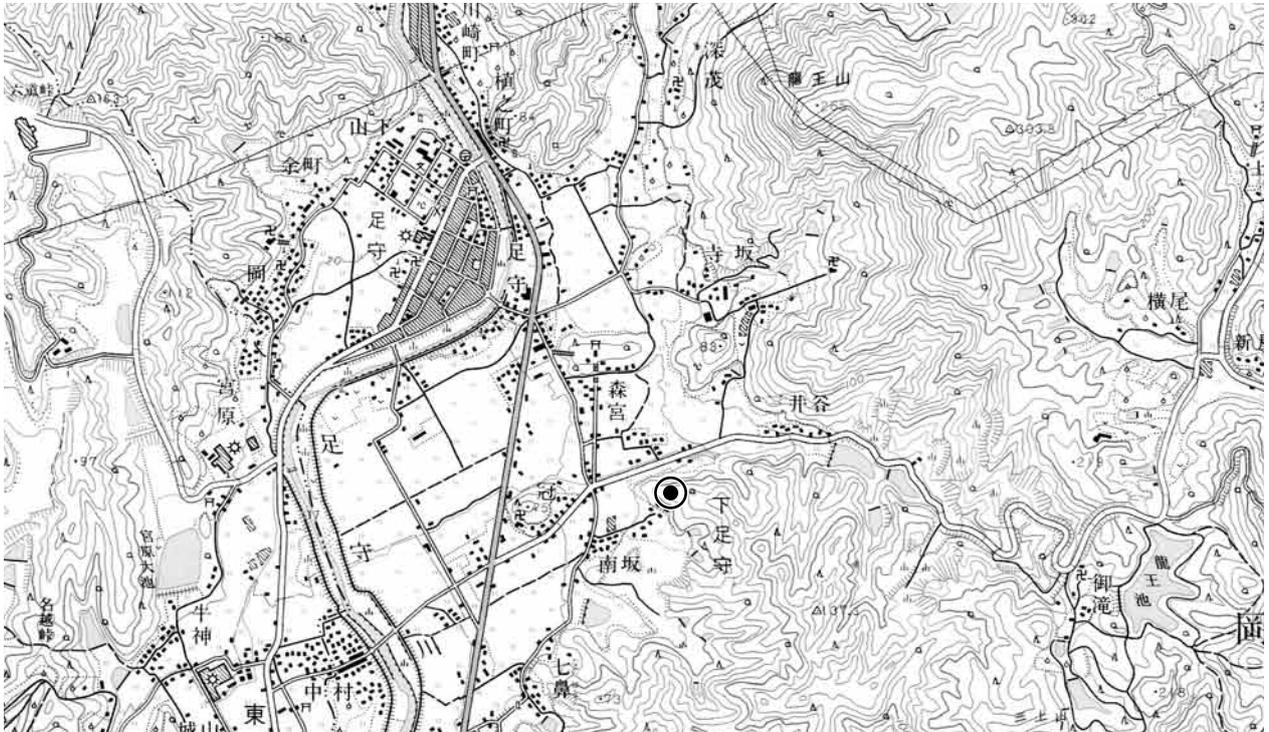


## 南坂 8 号墳

西田和浩

### 【遺跡の位置】



S = 1 / 25000

### 【遺跡の概要】

南坂 8 号墳は岡山市北区下足守に所在する古墳である。土砂採取にともなって、2002 年 9 月と 2004 年 10 ～ 12 月に発掘調査を行った。

調査の結果、墳丘長は約 27 m で、墳形は前方後方墳であることが明らかになった。前方部は先端が広がらず、墳丘に掘り込まれた土器棺が古墳時代前期中葉頃のものであることから、築造時期は古墳時代前期前葉～中葉ごろと考えられる。後方部中央には、竪穴式石室が築かれていた。しかし、出土した副葬品は管玉が 1 点のみであった。石室の底部には円礫が敷かれ、さらにその下層には石組の排水溝が作られるなど、丁寧な作りである。三井谷で最初に築かれた規模の大きい古墳であり、これより前に竪穴式石室はみられないことから、他地域との関係の中で築造されたものと思われる。8 号墳の周辺には土器棺墓や土壙墓等が築かれており、古墳時代を通して継続的に墓地として利用されている。

### 【文献】

岡山市教育委員会 2006 『南坂 8 号墳・一国山城跡・一国山古墳群』

### 【交通】

J R 吉備線「足守駅」下車 徒歩 40 分 ※遺跡は消滅している



図1 古墳の位置 (1/5000)

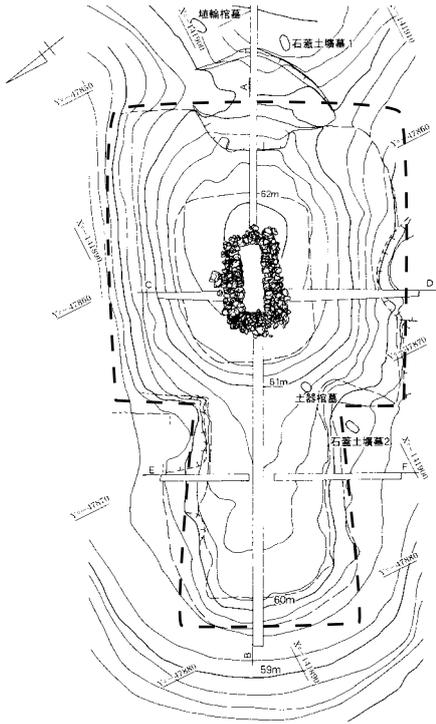


図2 墳丘平面図 (1/400)

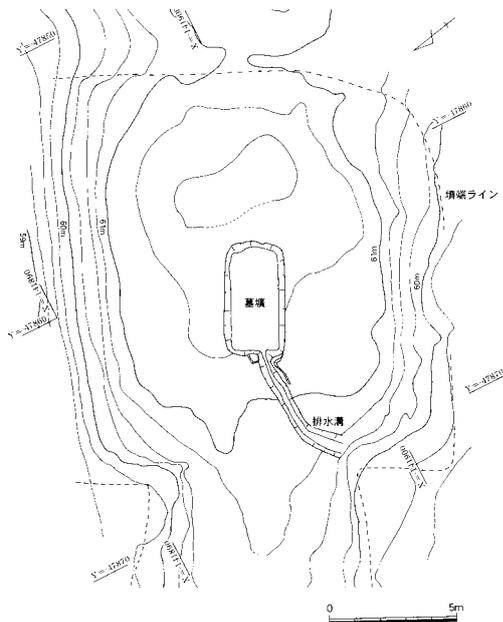


図3 盛土・石室掘り下げ後の排水溝平面図 (1/300)

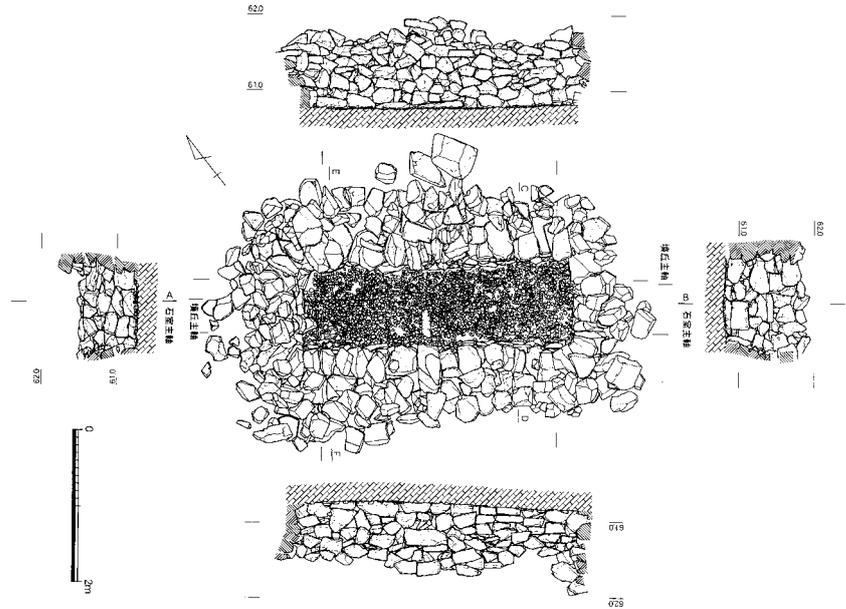


図2 石室実測図 (1/100)

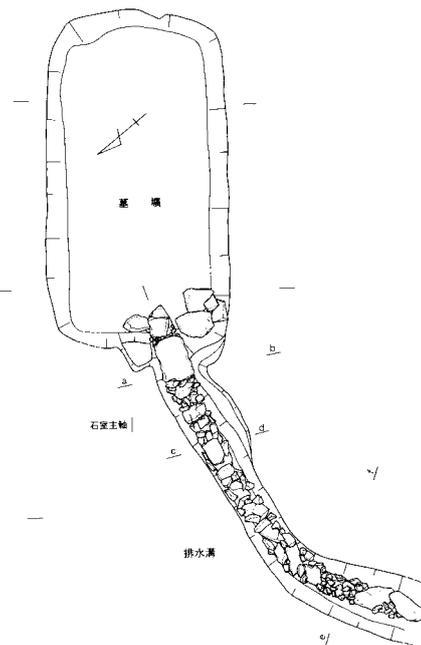


図4 排水溝平面図 (1/100)